



山梨県



甲府地方気象台

令和5年6月16日
国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所
山梨県
甲府地方気象台

関東大震災100年に学ぶ 山梨県における地震防災 ～大規模地震から命を守る「連携・実践・わがこと化」～ シンポジウムを開催します

今年、1923年9月1日に発生した関東大震災から100年を迎える節目の年であるため、関東地方整備局では、関係機関と連携し、各地域でリレーシンポジウム等の取り組みを実施しています。

国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所、山梨県及び甲府地方気象台では、「関東大震災100年に学ぶ 山梨県における地震防災」と題し、東日本大震災の被災事例や、災害対応の紹介を通じて、大規模災害から命を守るために県民と考えるシンポジウムを開催します。

- 日時：令和5年7月21日（金）13時30分～16時00分（13：00開場）
- 会場：山梨県立文学館 講堂（甲府市貢川1-5-35）
- 内容：基調講演、パネルディスカッション
- 参加方法：詳細については、別紙をご覧ください。
来場参加（事前申込み） 200名（先着）
WEB視聴（事前申込み） 500名程度
- その他：取材を希望される報道機関の方は、7月19日（水）までに別紙にて事前に申し込みをお願いします。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 山梨県政記者クラブ

<問い合わせ先>

国土交通省 関東地方整備局甲府河川国道事務所

電話：055-252-5491（代表） メールアドレス：ktr-koho-koufu@mlit.go.jp

副所長 本住 武司（もとずみ たけし）（内線：205）

総括地域防災調整官 吉永 裕康（よしなが ひろやす）（内線：207）

(参考) 関東地方整備局の関東大震災 100 年の取り組み「連携・実践・わがこと化」について

首都直下地震に切迫性が指摘されるなか、今年には関東大震災 100 年にあたります。

首都直下地震で大きな被害が発生する地域を所管し、自らも道路、港湾、河川等のインフラを管理する関東地方整備局として、地域全体での対応力を強化するため、関係機関との連携を強化し、より実践的な応急対応を目指して訓練を行うとともに、それぞれが主体的に対応することの必要性・重要性を広く関東地域にお住まいの皆さんや関係する方々に訴えることを目的に、一連の取組を実施していきます。

1. リレーシンポジウム ～関係機関が連携し、各地域で開催～

- 1月16日(月) 東京都(実施済)
- 6月26日(月) 千葉県
- 7月10日(月) 埼玉県
- 7月21日(金) 山梨県
- 7月27日(木) 栃木県、神奈川県
- 7月28日(金) 茨城県
- 8月17日(木) 群馬県

(パネル展)

- 7月26日(水)～7月27日(木) 長野県(会場1)
- 7月29日(土)～7月30日(日) 長野県(会場2)

2. 関東大震災100年シンポジウム～フィナーレとして～

- 8月28日(月) 主催：国土交通省
- 8月26日(土)～8月28日(月) 関東大震災特別企画展

3. 首都直下地震対応訓練 ～実践的な訓練を実施～

- 8月 道路啓開訓練、緊急支援物資水上輸送訓練 等

4. 関東大震災ゆかりの地を巡るツアー ～切迫する首都直下地震をわがことととらえる～

- 7月22日(土)、23日(日) 国土交通省、国土地理院

「関東大震災 100 年の取組」の詳細はこちらから

<https://www.ktr.mlit.go.jp/bousai/index00000005.html>



甲府河川国道事務所 ホームページ <https://www.ktr.mlit.go.jp/koufu/>

Twitter 情報 https://twitter.com/mlit_kofu



ホームページ



Twitter

気象庁 「関東大震災から100年」特設サイト

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/1923_09_01_kantoujishin/index.html



山梨県 「山梨県地震被害想定調査結果」

https://www.pref.yamanashi.jp/bousai/jishinnhigaisoutei/jishinnhigai_sotei_r5.html





東京駅前の焼け跡、日本橋方面



酒匂川国道の橋(神奈川県)



横浜海岸の焼け跡

上記写真3点の出典：気象庁ホームページ

関東大震災100年

「連携・実践・わがこと化」

首都直下地震に切迫性が指摘されるなか、関東大震災100年にあたり、

首都直下地震で大きな被害が発生する地域を所管し、

自らも道路、港湾、河川等のインフラを管理する関東地方整備局として、地域全体での対応力を強化するため、

関係機関との連携を強化し、より実践的な応急対応を目指して訓練を行うとともに、

それぞれが主体的に対応することの必要性・重要性を

広く関東地域にお住まいの皆さんや関係する方々に訴えることを目的に、一連の取組を実施していきます。



破損した外壁(都留市内)



倒壊した家屋(都留市内)



円通院山門付近の地割れ(都留市内)

関東大震災100年に学ぶ 山梨県における地震防災

～大規模地震から命を守る「連携・実践・わがこと化」～

開催日時・場所

令和5年 **7月21日(金)**

13:30～16:00(13:00開場)

山梨県立文学館 講堂



プログラム

基調講演

「ヒト・モノの災害時連携を考える
～災害事例に基づく応援受援のあり方～」

田村 圭子 氏 (新潟大学 危機管理本部危機管理センター 教授)

事例紹介

「山梨県における過去の災害」

松川 基 氏 (気象庁 甲府地方気象台 次長)

「大規模地震への備えについて」

伊藤 公仁 氏 (山梨県 防災局 防災危機管理課長)

ディスカッション

パネリスト(五十音順)

菅原 茂 氏 (宮城県 気仙沼市長)

秦 康範 氏 (山梨大学地域防災・マネジメント研究センター 准教授)

山下 博史 氏 (NPO法人 災害・ボランティア未来会 代表)

留守 洋平 氏 (関東地方整備局 甲府河川国道事務所長)

コーディネーター

田村 圭子 氏 (新潟大学 危機管理本部危機管理センター 教授)

参加無料

事前にお申し込みが必要です。
来場参加は先着200名、Web視聴は500名程度参加できます。

参加方法

右の二次元コードまたは以下のURLよりお申し込みください。
お申し込みURL <https://form.run/@ktrmlit-bousaisympo-info>



来場参加

- 1 ご案内ページより参加申し込みをお願いします。
※申し込みフォーム上で「**来場参加(山梨県立文学館)**」を選択してください。
- 2 ご登録いただいたメールアドレスに参加案内が届きます。
- 3 当日、上記地図の会場にお越しください。

Web視聴

- 1 ご案内ページより参加申し込みをお願いします。
※申し込みフォーム上で「**Web視聴**」を選択してください。
- 2 お申し込みいただいたメールアドレスに
視聴用URLをお送りいたします。
(Web視聴は動画配信サービス「YouTubeLIVE」を使用します。)
- 3 7月21日(金)13時00分以降に
視聴用URLにアクセスし、ご参加ください。

主催：山梨県、甲府地方気象台、甲府河川国道事務所

後援：一般社団法人山梨県建設業協会、山梨日日新聞社、山梨放送

問い合わせ：甲府河川国道事務所 TEL.055-252-5491(代表)

国土交通省関東地方整備局

甲府河川国道事務所 計画課 あて

FAX：055-254-9235、メール：ktr-koho-koufu@mlit.go.jp

関東大震災100年に学ぶ 山梨県における地震防災
～大規模地震から命を守る「連携・実践・わがこと化」～

取材申込み

申込み締切 令和5年7月19日（水）17時まで

取材者氏名 (代表者の方)	
同伴者数	
会社名	
所属部署名	
連絡先 (携帯電話など)	電話： FAX：
メールアドレス	
備考	掲載、放送等の予定がある場合や、連絡事項などを記入下さい

※ご記入いただいた個人情報は、「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づき適切に取扱います。